

診療報酬審査委員の保険者代表ら選出

本会理事会



本会理事会が5月25日、本会で開かれた。多々見良三理事長（舞鶴市長）が「平成30年度からの新国保制度の施行まで1年を切りましたが、連合会では新国保制度の円滑な導入に向けて、現在、京都府や市町村と連携を図りながら準備を進めています。こうした状況の中、本日の協議事項等の十分な審議をよろしくお願い申し上げます」と挨拶した。

早速、協議事項に入り、国民健康保険診療報酬審査委員会委員（保険者代表・31名）、国民健康保険等柔道整復療養費審査委員会委員（保険者代表・3名）、平成29年度診

療報酬審査支払特別会計歳入歳出補正予算（第1号）案、高額療養費支払資金貸付金特別会計歳入歳出補正予算（第1号）案を原案どおり承認した。

続いて専決処分に附した平成28年度診療報酬審査支払特別会計歳入歳出補正予算（第3号）など5件の報告事項があった。また、事務局より新国保制度に向けた本会にかかわる論点と事務局の基本的な考え方について説明し、京都府並びに市町村、関係団体と協議・調整のうえ7月の理事会、通常総会で具体的な提案を予定している。